

# 里塚斎場の再整備に関する説明会（第1回）【議事録】

## 1 日時

令和7年11月13日（木）16時00分から17時25分まで

## 2 場所

里塚・美しが丘地区センター（札幌市清田区里塚2条5丁目1-1）多目的室

## 3 主催者

札幌市

## 4 出席者

- (1) 札幌市 保健福祉局ウェルネス推進部施設担当部長  
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課長  
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課斎場担当係長ほか
- (2) 住民等 約35名

## 5 説明会概要

- (1) 主催者挨拶（施設担当部長）

- (2) 説明（施設管理課長）

### ア はじめに

- ・ 里塚斎場は、供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進行しています。
- ・ 市内の火葬件数は、令和36年頃まで増加することが見込まれます。
- ・ 市民の火葬需要に安定的に応えるため、老朽化した里塚斎場の再整備について検討しています。
- ・ 清田区町内会連絡協議会会長会議には事前に説明し、説明会については了解を得ていますが、地下鉄東豊線の清田区への延伸が実現していない状況で、住宅地に近い場所への建替えは受け入れられないとの意見をいただいている。
- ・ 市の火葬場の現状、課題、再整備の検討状況を説明し、率直な意見を伺いたいと考えています。

### イ 市内の火葬場について

- ・ 里塚斎場（南東）と山口斎場（北西）の2斎場体制で対応しており、それぞれ豊平川を挟んだ東側と西側のエリアを主な利用区域としています。
- ・ 里塚斎場の立地選定の経緯については、昭和50年代に平岸火葬場の老朽化等のため火葬場新設が計画され、市内複数の候補地から、切土や盛土を必要としない地形・地勢であることや主搬入路が住宅地を通らないこと等を総合的に評価し、里塚が最適地として選定されました。
- ・ 里塚斎場の建設にあたり、地元町内会からの反対意見がある中、清田地区町内会連合会が設置した特別委員会での検討を経て、清田区の分区や地下鉄東豊線延伸など14項目について、市が善処することを条件に斎場建設を容認するという内容の要望書が提出され、昭和56年3月に建設の了承を得ました。
- ・ 要望事項のうち、清田区の分区や羊ヶ丘通・北野通の全面開通などは実現したが、公立大学の誘致や地下鉄東豊線の延伸は実現に至っていません。
- ・ 地下鉄東豊線延伸については、現在も地下鉄東豊線建設促進期成会連合会が活動しており、要望書を提出しています。市長は、地域の熱い思いとバスの減便で不便になっている現状を重く受け止めていますが、将来にわたり赤字が膨らむ計画は責任を持った形で作れないことから、現在はいろいろな形で調査等を含めて動いている段階であるといった趣旨の回答をしており、清田地区町内会連合会各会長からは進展がないことに不満の声があります。
- ・ 山口斎場の立地については、豊平川西側を主な利用エリアとして、里塚斎場との位置関係も考慮のうえ、複数の候補地から手稲山口が候補地として選定されました。

#### ウ 火葬場の課題について

- ・ 里塚斎場は築40年で、火葬炉も令和16年頃には入れ替えが必要となります。山口斎場も令和18年頃には全面改修が必要となります。
- ・ 令和6年度の市内火葬件数は26,400件で、里塚・山口それぞれの火葬能力を超えていました。山口斎場が全面改修で休止した場合、里塚斎場だけで市内の火葬需要（最大令和36年に32,800件見込み）に対応することは困難です。

#### エ 再整備について

災害時のリスク分散や利用者の利便性を踏まえると、現在の里塚・山口の2斎場配置が最適であり、里塚斎場の再整備は里塚で行う必要があると考えています。

#### オ 新斎場の整備候補地について

現里塚斎場の敷地内、隣接地、近接地（里塚霊園内の円形芝生広場）を比較検討しました。

#### カ 整備候補地の比較検討について

- ・ 敷地内は、現斎場と同位置であり周辺住環境への影響が少ないですが、現斎場稼働中の工事となり、利用者の安全確保や駐車スペース確保が困難で、設計の自由度が低く、また、工事中の騒音で現斎場の静謐性が保てない恐れがあります。
- ・ 隣接地は、敷地内と同様、周辺住環境への影響が少ないですが、急傾斜地のため盛土造成が必要となり、地盤沈下や土砂災害リスクがあり、工事中の安全確保が困難で、樹木の伐採による自然環境への影響が懸念されます。
- ・ 近接地の円形芝生広場は、平坦な地形で盛土造成が不要で災害リスクが低く、また、現斎場と一定の距離があり、工事中の会葬者の安全や駐車スペースの確保ができる一方、現斎場から住宅地側に約450m近づくこととなるため、工事中の騒音・振動、完成後の景観への配慮が必要です。
- ・ 災害リスクの低減と会葬者の安全確保を前提として比較した結果、敷地内や隣接地での再整備は難しく、周辺住環境に配慮しつつ円形芝生広場を整備候補地とすることが最適であると判断しました。

#### キ 里塚斎場（現斎場と新斎場）と山口斎場の中長期整備スケジュール

- ・ 新斎場は、令和17年の供用開始を目指しています。
- ・ 山口斎場は、令和18年頃から大規模改修が必要となるため、改修期間中は現斎場と新斎場の2斎場で対応します。
- ・ 現斎場は、山口斎場の大規模改修完了後に廃止する考えです。

#### ク 周辺環境への配慮について

- ・ 景観等：植樹による目隠しなどを検討します。また、工事中の騒音などに配慮します。
- ・ 環境対策：ダイオキシン等の抑制効果の高い設備を導入します。燃料には灯油よりクリーンな液化天然ガス（LNG）などを検討し、ばい煙等の環境対策を強化します。
- ・ 周辺道路：火葬需要を平準化する取組を継続します。山口斎場の大規模改修を全面休場せずに方法や工期短縮を検討し、改修期間中の里塚への火葬集中を緩和する策を検討します。

#### ケ 合葬墓の新設・里塚霊園管理事務所の建替えについて

- ・ 里塚霊園管理事務所は、築50年以上が経過し、老朽化が著しい状況です。
- ・ 平岸霊園の合同納骨塚は、需要の高まりから令和9年度には受入れ限界を迎える見込みです。
- ・ 老朽化している里塚霊園管理事務所の建て替えと、里塚霊園内への合葬墓の新設を同時に進行する方向で検討しています。

### (3) 質疑応答

#### ○ 発言者A

- ・ 里塚斎場の再整備は、将来的なニーズを踏まえると理解できる。里塚と山口で斎場を分担している現状からも、里塚での新設は必要だと感じている。

- ・ ただ、市が想定している候補地の円形芝生広場が住宅地に近すぎることに強い懸念がある。合葬墓や靈園管理事務所の予定地も近すぎる。
- ・ 現斎場建設時に要求した14項目のうち、老人娯楽施設や球技広場は他区と比較して少ないと感じる。
- ・ 里塚には靈園と斎場があり、周辺住民は風評被害を受けていると感じており、我慢をしている実態があることを考慮してほしい。
- ・ 風向きによっては、ばい煙が住宅街に流れる場合がある。ダイオキシンを抑制するレベルではなく、全くのゼロになるような、健康被害がない形の計画を強く要望する。
- ・ お盆を含む繁忙期や工事期間中の交通渋滞について懸念がある。渋滞の原因是、出入口が里塚1号線の1箇所しかないことと、生活道路が抜け道として使われていることにあると考える。里塚靈園へのアクセスについても、新たな道路や複数の出入口を設けるなど交通の分散を図ることを検討してほしい。
- ・ 現在の候補地だけでなく、他の候補地や近くではない場所も含めて検討の余地があると思う。

○ 発言者B

周辺住民は過去の地震で地盤沈下など大変な被害に遭った。里塚靈園の地盤は大丈夫なのか。

○ 施設管理課長

- ・ 円形芝生広場の地盤は、広場内の配水池のボーリング調査の結果から、しっかりととした支持地盤があり、地盤沈下等のリスクが低く、液状化の可能性も低い場所なので、しっかりと施工すれば安全性が確保されると考えています。現斎場の敷地の地盤も問題はなく、胆振東部地震でも被害はありませんでした。
- ・ 一方で、隣接地については崖地であり、樹木を伐採し盛土を行った場合、地震や大雨に対する脆弱性が増すため、リスクがあると判断しました。

○ 発言者C

- ・ 現斎場建設時と比べ、現在は里塚靈園近隣に多くの住民が居住するようになり、状況が大きく変化している。状況の変化を考慮に入れ、周辺住民へのさらなる配慮をお願いしたい。
- ・ 円形芝生広場も傾斜地であり、あの面積で何かを作ろうとすると、かなりの土留め工事や整地工事が必要になると思う。周辺住民にできるだけ影響が及ばないよう、円形芝生広場ではなく、現斎場の敷地により近く、奥まった場所で、計画を進めていただきたい。
- ・ 合葬墓についても、居住地から近いので、もう少し奥まった場所で設置を検討していただきたい。
- ・ 山口斎場の休場中、里塚で現斎場と新斎場が並行して利用され、交通量が倍増することが懸念される。山口斎場を休場させないことはできないのか。

○ 施設管理課長

- ・ 里塚斎場が大規模改修を行った平成19・20年度は、里塚斎場を止めて山口斎場だけで対応できたが、その頃と比べて火葬件数は大幅に増加しており、現在では年間26,000件を超え、どちらか一方の斎場だけでは対応できない状況です。
- ・ 山口斎場は、火葬炉が築30年を迎え、受変電設備を含めて交換が必要な一方、建物自体は使用可能であるため、建替えではなく改修する予定です。その間、里塚斎場に火葬負荷が集中する懸念に対しては、山口斎場を稼働しながら火葬炉を部分的に改修する方法や、想定している2年間の休止期間を短縮できないか、鋭意検討を進めたいと考えています。
- ・ 火葬需要が友引明けなどに集中している現状を少しでも改善するため、導入した予約システムを活用し、需要を平準化するための仕組づくりと市民への周知を積極的に進めてまいります。

○ 発言者C

里塚斎場周辺では、お盆やお彼岸を中心に幹線道路へ出ることができないほどの大渋滞が発生し、生活道路の通り抜けが住民生活に影響を与えていた。山口斎場の改修に伴い、里塚で現斎場と新斎場を併用することで交通量が大幅に増加し、事態はさらに悪化することが予想される。交通渋滞や通り抜けを解消するための対策をお願いしたい。

- 発言者D  
お盆などに特に渋滞する羊ヶ丘通と里塚靈園方面に向かう道路が交差する交差点にアンダーパスの検討がなされているのか伺いたい。
- 施設管理課長  
アンダーパス等が検討されているとの情報は、現時点では承知しておりません。
- 発言者E  
斎場を現在の靈園奥から住宅地に近い方へ前進させてこようとしているが一体何を考えているのか。
- 施設管理課長  
円形芝生広場を候補地とする案については、住宅地に近づく点が、周辺住民にとってデメリットになると認識していますが、他の候補地と比較検討を行い、災害時のリスク等を考慮し、円形芝生広場に比較的優位性があるという判断に至りました。
- 発言者E  
市内には土地が沢山あるのに、里塚でなければならない理由は何なのか。
- 施設管理課長  
市内の火葬場は、里塚と山口の2斎場体制です。市の中心部を挟んで両端に配置されており、最適な配置だと考えています。里塚斎場の再整備については、里塚で進めたい考えで、敷地内・隣接地・近接地について検討を行ったところです。
- 発言者F  
市はとにかく何でも里塚に引き受けてもらおうという感じだ。円形芝生広場については近隣に住宅があるのでNGだ。百歩譲っても、近隣地ではなく隣接地に、工夫を凝らして新斎場を設けるべきだと考える。平岸靈園にある合葬墓まで里塚に押し込めていこうという意図が見える。もう何でもかんでも里塚なら引き受けてくれるというような印象を受けざるを得ない。このような計画では周辺住民は納得できない。円形芝生広場ではなく、隣接地を中心に検討してほしい。
- 発言者G  
現斎場は、主搬入路が住宅街を通らないこと等から総合的に評価してここに決めたと資料に記載がある。確かに昭和50年代には、里塚には家はほとんど無かった。昭和60年代から急速に宅地化が進み、現在では靈園近辺まで建ち並んでいる。現斎場が老朽化している、あるいは火葬需要が増えてきているということが喫緊の課題であることは理解する。問題は、新斎場をどこに作るかという時に、なぜ里塚靈園だけしか検討しないのかということ。山口と里塚の2斎場体制を維持するとのことだが、それは理由にならない。例えば、東区に作ろうとしたら住民の反対が強く、建設が不可能だったとか、そういう現実的な理由があるのか。昭和50年代の理由は、搬入路に住宅が無かったことだったが、その決定的な理由がもはや存在しないではないか。なぜ今、里塚靈園しかも住宅街にかなり近接した円形芝生広場という場所を選ばなければならないのか、その辺の説明が足りないのでないか。
- 施設管理課長
  - ・ 里塚斎場を先に整備し、その里塚斎場との位置関係を考慮しながら、現在の山口斎場を後に整備いたしました。市の中心部を挟んでバランスよく配置されており、この2斎場体制が最適であると考えています。
  - ・ 里塚斎場の再整備については、里塚靈園を候補地として検討させていただき、靈園内の候補地を比較検討した結果、円形芝生広場が最適と考えたところです。
- 発言者G
  - ・ 現斎場の建設は、昭和51年頃から6年ほど住民の同意取り付けに時間を要したと聞いている。その時の条件の一つが清田方面まで地下鉄を建設することだった。当時、札幌市は清田方面まで地下鉄を伸ばすという計画があったが、現実的に反故になった。

- ・ 清田区は里塚靈園・里塚斎場が設置されたことで、市に多大な貢献をしてきていると自負している。しかしながら、地下鉄は通っていない。市民が集まるような文化施設やスポーツ施設、例えば札幌ドームは豊平区、ちえりあは西区、他区もつどーむ、芸術の森など様々な施設がたくさんあるにもかかわらず、清田区にあるのは里塚靈園と里塚斎場だけだ。清田区は、里塚靈園と里塚斎場の設置で、これまで貢献を果たし、これからも果たしていく。せめて約束した地下鉄ぐらい通してほしいと願っている。

○ 施設担当部長

- ・ 現斎場建設にあたっては、地域の皆様に多大なご理解をいただき、我慢しているというご発言もありましたが、長い間、温かく見守っていただいていることに感謝申し上げます。
- ・ ご指摘の通り、当時、地下鉄の整備計画はありましたが、実現していないというのは事実であり、地下鉄東豊線建設促進期成会連合会から毎年市に対しご要望をいただいているところです。
- ・ 地下鉄の所管ではないので、この場で何かをお答えすることはできませんが、本日、そのようなご意見を改めていただいたことにつきましては、所管の部署にしっかりと伝えていきたいと思います。

○ 発言者H

ただ単に住民の意見を聞いたということで、このまま計画を進めるのでは駄目だ。我々の声を行政に反映していかないと駄目だ。近隣の方が来られて切実な声を出している。計画を再検討する段階に入つてほしい。

○ 施設担当部長

- ・ 我々としては、円形芝生広場が最適地と考えておりまして、本日はその説明をさせていただいたところです。皆様方から円形芝生広場は住宅地に近いというご意見があり、植樹によって斎場が見えないようにする工夫や、近代的なデザインを採用することで風評被害をできるだけ減らすこと、環境については最新の技術を使ってダイオキシンが発生しないような設備を導入するなど、万全を期す考えですが、それでもご理解いただけないケースがあるということは承知しております。
- ・ 本日を皮切りにご意見を聞かせていただく説明会を予定しております。その中でいただいたご意見を踏まえて、改めてこの斎場の再整備について考えていきたいと思っています。

○ 発言者I

近接地であることの他、里塚であることに対しても反対意見があることも重く受け止めてほしい。本日の意見について、他の説明会の会場に来られる方々にも共有していただくことは可能か。

○ 施設担当部長

全てのご意見を説明するというわけにはいきませんが、例えば、円形芝生広場は住宅地に近いというような主なご意見については、今後の説明会の場で説明させていただきます。

○ 発言者J

ある程度方針が決まった後に説明会はあるのか。

○ 施設担当部長

- ・ 本日は再整備の検討内容を説明いたしましたが、候補地がいくつかある段階です。まだ決めているわけではありませんが、候補地が固まった段階でご意見を伺う機会を設けることは必要だと考えています。
- ・ 候補地としては敷地内、隣接地、近接地を示しています。その中で、近接地である円形芝生広場が最適地と考えておりまして、この案をベースに今は説明させていただいている。

○ 発言者K

里塚靈園から離れた所はどうなのか。

- 施設担当部長
- ・ 里塚斎場を先に整備し、その里塚斎場との位置関係を考慮しながら、現在の山口斎場を後に整備いたしました。市の中心部を挟んでバランスよく配置されており、この2斎場体制が最適であると考えています。
  - ・ 里塚斎場の再整備については、里塚霊園を候補地として検討させていただきたい思いがあります。
- 発言者K
- 候補地に有明は無いのか。
- 施設担当部長
- 現在はありません。
- 発言者K
- 有明を候補地に入れてほしい。
- 施設担当部長
- いただいたご意見は全て斟酌させていただきます。
- 発言者L
- 円形芝生広場について、斜面だから工事が必要だという意見（発言者C）があった。隣接地も工事が必要だという状況は同じだ。どちらも工事の必要があるのであれば、居住区の近くではなく、隣接地の方に、地盤などの問題があるのかもしれないが、市が責任を持って費用をかけて整備していくべきではないか。
- 施設管理課長
- ・ 検討内容の説明にあたりましては、近接地が良いのではないかと考えましたが、近接地についても傾斜地で、やはり造成が必要ではないかというご指摘をいただいたところです。
  - ・ 隣接地の裏側周辺は、高低差が40メートルほどある、いわば崖のような場所です。そこを造成していくとなると、土砂災害といった大きなリスクが生じます。そこと比較して、近接地の円形芝生広場は、傾斜地ではあるものの、隣接地ほどの造成までは必要が無く、これが円形芝生広場を最適だと考えた理由です。
  - ・ 皆様から、円形芝生広場は住宅地に近づくという点で「これはよろしくないのではないか」というご意見をいただいているので、重く受け止めさせていただき、今後の検討課題にさせていただきたいと思っているところです。
- 発言者L
- 隣接地は市の土地なのか。
- 施設管理課長
- 殆どが市の土地ですが、一部国有地や民有地も含まれています。
- 発言者L
- 有明も考えられると思うが、有明の土地を買うよりも、隣接地に盛土して工事する方が、費用としては安く済むのではないか。
- 施設管理課長
- 隣接地はかなりの傾斜地なので、造成には相当の費用を要すると思いますが、そういったご意見も参考に検討させていただきます。

○ 発言者M

- ・ 役所は縦割りなので、例えば、道路の渋滞についてどうするのかという点一つをとっても、本日の説明者が明確に答えるのは無理だと思う。本日の意見や質問について、どのような形で回答が得られるかは分からぬが、今回のテーマ以外で回答は出てこないと思う。
- ・ 地下鉄についても、縦割りなので、所管は本日の説明部署とは違う部署になる。市長には、再三にわたって地下鉄について要請しているが、採算性の問題等で進んでいない。
- ・ 本日の質問等について、本日出席の皆さんに対し、どういう形で、いつ説明するのか、それをはっきりしていただきたいというふうに思う。
- ・ 清田区5町内会連合会には説明することになっているが、本日出席の皆さん、今後出席する皆さんの質問等をまとめて、きちんとお答えすることを進めていかないと、今回のテーマについての進捗は、非常に難しい話になると思う。きちんとお答えいただく機会を設けてほしい。

○ 施設担当部長

現在は意見交換会を通じて様々なご意見をいただく段階です。今後成案を作成し、改めて説明する機会を設けまして、皆さんのご意見等を踏まえて、市としてこのような方向で考えていると説明することになろうかと思います。

以上